

アジレント回転式キャピラリカラムカッター取扱説明書

各部の名称(図1参照)

- A. カラムロックリングホイール
- B. カッターホイール
- C. ダイヤモンド刃リリースボタン(赤丸付き)
- D. カラムエントランス(カラム入口)
- E. 20×拡大鏡(カラム断面確認用)

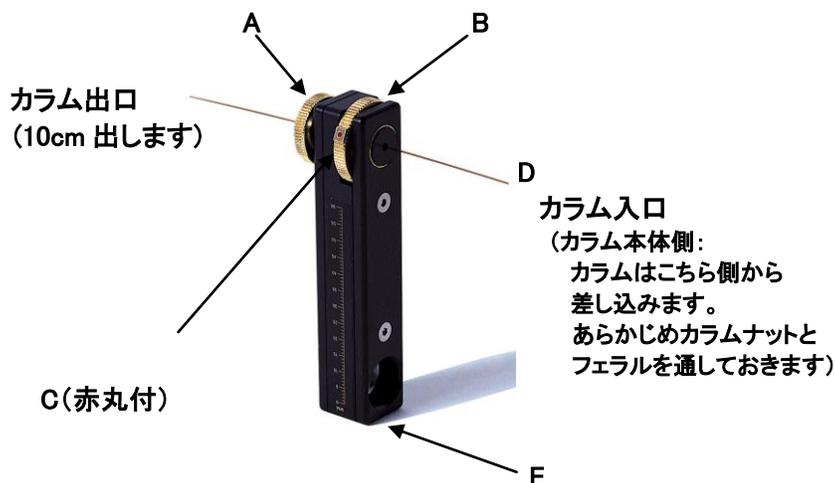


図1:各部の名称

※写真は GC キャピラリカラム用カッター

切り方手順

(※注:カラムのカッティング作業を行っている間は、安全眼鏡を着用してください)

1. カラムを切る前に、カラムを接続する先に適したカラムナットとフェラルをあらかじめ通しておきます。
2. 次にアセトンを含ませたリントフリー紙でカラムの先端 10cm を拭きます。
3. カラムの先端約 30cm をカラムバスケットからはずします。
4. カラムカッターのカラムロックリングホイール(A)を反時計回りに2回転ゆるめます。(すでにゆるんでいる場合はこの限りではありません。)
5. カッターホイール(B)上の赤丸ボタン(C ダイヤモンド刃リリースボタン)を押したまま、カラムエントランスにカラムを差し入れます。

注意:カラムカッター内にカラムを通す時は必ずダイヤモンド刃リリースボタンを押したままで行ってください。ボタンを押さない状態でカラムを通そうとするとダイヤモンド刃にダメージを与え、きれいなカッティングが出来なくなります。

6. 刃リリースボタンは押したまま、ロックリングホイールを時計方向に十分締めてカラムを固定します。
7. 刃リリースボタンを離します。この時ダイヤモンド刃はキャピラリカラムの表面に置かれます。
8. カッティングが終わるまで、
図2のようにカラムをまっすぐにキープしてください。
9. カッターホイールをカラムが切れるまで一方向に回します(約2~6回)。途中で逆回転させないでください。

この時、刃リリースボタンには触れないようにしてください。

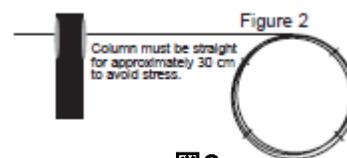


図2

アジレント回転式キャピラリカラムカッター取扱説明書

10. カラムカッターからカラム片を取り除きます。
 - a. 刃リリースボタンを押して、本体側のカラムを外します。
 - b. 刃リリースボタンを押したままロッキングホイールをゆるめます。(反時計方向、2回)
 - c. カラム片をカラムカッターから取り除きます。
11. カラムの切断面をカラムカッターに付いている拡大鏡で確認します。
 - a. 切断面がまっすぐに、ヒューズドシリカやポリイミドの破片なしに、カットされているかを確認します。
 - b. きれいにカットできていなければ、カッティングし直してください。
 - c. GC キャピラリカラムカッターは、内径 0.1mm~0.32mm のキャピラリカラム用に設計されています。(HPCE キャピラリ用は内径 0.05mm~0.32mm キャピラリ用)
内径 0.53mm のキャピラリカラムで使用する場合には、カット後必ず切断面を確認してください。



よい例

悪い例

図3:カット後の拡大写真

カラムカッターのメンテナンス

定期的にダイヤモンド刃からヒューズドシリカの破片等を取り除いてください。約5回使用後、あるいは突然切れ味が落ちた時などに、きれいな圧縮空気をカラムの通り道に軽くふきつけ、ごみを取り除いてください。

製品案内

部品番号	品名
5183-4620	GC キャピラリカラム用 回転式キャピラリカラムカッター
5183-4621	GC キャピラリカラム用 ダイヤモンド替え刃
5183-4669※	HPCE キャピラリ用 回転式キャピラリカラムカッター
5183-4670※	HPCE キャピラリ用 ダイヤモンド替え刃

※HPCEキャピラリ用のカラムカッター本体、替え刃のプラスチック部分は青色です。

お問い合わせ先:アジレント・テクノロジー株式会社
〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1
フリーダイヤル 0120-477-111